

令和 4 年度（ 2022 年度）

事業報告書

社会福祉法人 ありんこ

◇本部	1 ページ～
◇障害福祉サービス事業所ありんこ	5 ページ～
◇ライフサポートセンターさかえ	
・ G H あさひ G H そよかぜ	12 ページ～
・ 短期入所事業所 ありが亭	14 ページ～
◇ライフサポートセンターありんこ	
・ 富士北麓障がい者相談支援センターありんこ	15 ページ～
・ 障がい者就業・生活支援センターありす	17 ページ～
・ 訪問型職場適応援助者事業	19 ページ～

社会福祉法人ありんこ
令和４年度事業報告書

（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

【法人概要】

種類及び名称	社会福祉法人ありんこ		
所 在 地	山梨県富士吉田市大明見 1-13-28	Tel) 0555-22-7217	
代 表 者	理事長 渡 邊 秀 樹		
設立年月日	平成 13 年 10 月 26 日		

【法人の事業】

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称		障害福祉サービス事業所ありんこ									
所 在 地		山梨県富士吉田市大明見 1-13-28									
電 話 番 号		0555-22-7217				F A X 番号		0555-22-7218			
代 表 者		施設長 桑 原 由 紀 枝				サービス管理責任者		桑 原 由 紀 枝			
事業開始年月日		平成 22 年 4 月 1 日						金 森 大			
		定員		年度末現員		開 所 時 間		9 時 ～ 16 時 30 分（ 7.5 時間）			
自立訓練（生活訓練）		6 名		2 名		開 所 日		月 ～ 金曜日（土・日の行事あり）			
就労移行支援		6 名		2 名		開 所 日 数		自立訓練（生活訓練）		222 日	
就労定着支援		名		4 名				就労移行支援		261 日	
就労継続支援B型		40 名		37 名				就労継続支援B型		308 日	
職 員	職 種	施設長	副施設長	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	就労支援員	就労定着支援員	目標工賃達成指導員	調理員	事務員
	人 数	1	1	2	8	8	1	1	2	2	1
内 容	訓練科目	・ 調理、清掃、洗濯、裁縫、草取り等家事訓練 ・ 体力づくり ・ コミュニケーション訓練、金銭管理訓練、衛生管理訓練、生産従事訓練 ・ 社会人マナー訓練、社会資源活用体験 ・ 就職活動相談及び支援 ・ 企業実習、施設外就労、施設外支援 ・ パソコン技能、運転免許取得等の学習									
	授産種目	・ 紙器加工、精密部品処理、野草他サンプル等の袋詰めなどの簡易受注作業 ・ お弁当、お菓子、手工芸品、加工品などの自主製品づくりと販売活動									
	他の活動	・ 福祉事業所を利用して就職された方の就労定着・生活支援 ・ アルミ缶や古紙などの回収、分別 ・ バザーや模擬店の出店 ・ カフェ運営 ・ 各種研修会への参加 ・ 地域との交流事業 ・ レクリエーション活動 ・ 余暇活動、創作活動支援 ・ ボランティア活動									

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	グループホームあさひ		
所在地	山梨県富士吉田市旭 2-15-12	Tel) 0555-22-3770	
代表者	管理者 桑 原 節 子	サービス管理責任者	桑 原 節 子
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日	バックアップ施設	障害福祉サービス事業所ありんこ
定員	5 名	年度末現員	5 名

従たる事業所	グループホームそよかぜ		
所 在 地	山梨県富士吉田市下吉田 5-13-18		Tel) 0555-23-0294
事業開始年月日	平成 19 年 11 月 1 日		
定員	7 名	年度末現員	7 名
職員	管理者兼サービス管理責任者 1名（常勤） 世話人 8名（非常勤）		
事業の運営方針	障がいをもつ方が、地域で当たり前に生活できるような環境づくりを目指し、本人の意思及び人格を尊重し、健全で主体的な生活が送れるように、利用者の立場に立って援助を行い、自立生活や地域活動の充実を図ります。		

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	短期入所事業所ありが亭		
所在地	山梨県富士吉田市旭 2-15-12	Tel) 0555-22-3770	
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日	利用定員	3 名
職員	生活支援員 5 名		
事業の運営方針	居宅の生活が一時的に困難になった障がい者に対し入浴・排せつ・食事・着替えの介助・見守りその他必要なサービスを提供して、日常生活上の支援を行います。		

■第二種社会福祉事業（相談支援事業）の実施

種類及び名称	富士北麓障がい者相談支援センターありんこ * 指定特定・指定障害児相談＝富士吉田市指定 指定一般相談＝山梨県指定		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	管理者 角 張 洋 和	事業開始年月日	平成 23 年 4 月 1 日
相談担当者	相談支援専門員 1名 (常勤) 1名 (非常勤)		
事業の目的と内容	・障がい者、家族、介護者、関係者等（以下「障がい者等」という。）からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、その他の障がい福祉サービスの利用等、必要な支援を行うことにより、障がい者等が自立した生活または社会生活を営むことが出来るようにします。 ・サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成し、モニタリングを実施し継続支援を行います。 ・地域移行支援、地域定着支援を行います。		

■公益事業の実施

種類及び名称	障がい者就業・生活支援センターありす (国、県からの委託事業)		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	センター長 三 浦 誠	事業開始年月日	平成 23 年 4 月 1 日
職員	主任就労支援員 1名 (常勤) 就労支援員 1名 (常勤) 生活支援員 1名 (常勤) 1名 (非常勤)		
事業の目的と内容	就職を希望する障がい者、職場不適応により離職した障がい者や離職のおそれがある在職中の障がい者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障がい者の職業生活における自立を図ります。		

■公益事業の実施

種類及び名称	訪問型職場適応援助者事業		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	管理者 三 浦 誠	事業開始年月日	平成 29 年 4 月 1 日
職員	第一号ジョブコーチ 2名（兼務）		
事業の目的と内容	障がい者の職場適応に課題がある場合に、職場に出向いて、障がい特性を踏まえた専門的な支援を行い、障がい者の職場適応を図ることを目的としています		

【法人の運営】

＜理事会の開催＞

	開催年月日	出席者数	
1	R4. 6. 30	5 (1)	- 令和 3 年度事業報告 - 理事長・業務理事活動報告 - 令和 3 年度収支決算報告（案）について - 第1回 評議委員会について
2	R4. 9. 30	5	理事長・業務理事活動報告
3	R4. 11. 17	5 (2)	- 令和4年度第一次補正予算（案）について - 積立金の積立について - 各種規程の変更について - 第2回 評議委員会について - 理事長・業務理事活動報告 - その他
4	R5. 3. 20	5 (1)	- 令和4年度第二次補正予算（案）について - 令和5年度事業計画（案） - 令和5年度収支予算（案） - 第3回 評議委員会について - 理事長・業務理事活動報告

（ ）は監事出席

＜評議員会の開催＞

	開催年月日	出席者数	決 議 事 項
1	R4. 7. 14	5	- 令和 3 年度事業報告 - 令和 3 年度収支決算報告（案）について
2	R4. 11. 26	5	- 令和4年度第一次補正予算（案）について - 積立金の積立について - 各種規程の変更について
3	R5. 3. 30	5	- 令和4年度第二次補正予算（案）について - 令和5年度事業計画（案） - 令和5年度収支予算（案）

<その他の活動>

月	日	曜	主な活動内容
4	1	木	新年度開始式
5	29	日	辻澤文男さんお別れの会開催
	31	火	令和3年度消費税申告・納税
6	29	水	法人内部監査
7	4	月	甲府法務局へ資産変更登記
8	6	土	高座神社祭典 参列
	17	水	山の神玉ぐし料 奉納
	30	火	山梨県社会福祉法人経営者協議会研修参加
10	14	金	安全衛生委員会主催研修 健康なからだについて
12	22	木	防災設備アポロ 梶原洋雄 様 葬儀参列
2	5	日	初午祭
	27	月	障がい者就業・生活支援センターありす 監査 山梨労働局
3	9	木	山梨県福祉保健部障害福祉課主催 集団指導説明会 参加
	15	水	課長会議主催 職員文化交流会書道教室

<一般寄付金> (順不同)

岡田俊哉 様 勝俣高彦 様 カトリック富士吉田教会 様
 連合山梨 様

<物品寄付> (順不同)

カーテン工房D r e a m 様 富士の緑とフードサポート 様
 (株) 梶原工業所 様 明見中学校環境美化委員会 様 富士北稜高校 様
 テレビ山梨厚生文化事業団 様 クロダ(株) 様 慈光院 様 山一酒店 様
 ファルマフード研究所 様 亀齡堂 様 富士牛乳 様 三枝農園 様
 住友生命山梨支社ふじやま支部 様 住友生命労働組合山梨支部 様
 明治安田生命保険相互会社 様 ふじやま介護サービス(株) 様
 和田京子 様 渡辺孝二 様 田中清彦 様

障害福祉サービス事業所ありんこ

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 利用者

定員 生活訓練 6名 就労移行 6名 就労定着 20名 就労B型 40名
 年度末現員 生活訓練 2名 就労移行 2名 就労定着 3名 就労B型 37名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活訓練	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	1	2
就労移行	1	3	3	3	1	2	2	2	2	2	2	2
就労定着	3	3	3	4	4	3	4	4	4	3	4	4
就労B型	38	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37
合計	45	46	46	47	45	44	45	45	44	43	44	45

生活訓練 = 8月 1名利用終了 11月 1名利用終了
 3月 1名利用開始
 就労移行 = 5月 2名利用開始（内1名B型より） 8月 2名利用終了（内1名就職）
 就労定着 = 7月 1名利用開始 8月 1名利用終了
 10月 1名利用開始 12月 1名利用終了
 2月 1名利用開始
 就労B型 = 4月 1名利用終了（移行へ）

支給決定市町村 富士吉田市 40名 富士河口湖町 4名
 （実人数） 山中湖村 1名 忍野村 2名
 西桂町 2名 都留市 1名
 上野原市 2名

2. 職員

施設長 1名 サービス管理責任者 2名 就労支援員 1名
 就労定着支援員 1名 目標工賃達成指導員 2名 職業指導員 8名
 生活支援員 8名 調理員 2名 事務員 1名

3. 開所日数・延べ利用人数・1日平均利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活訓練	日	21	18	22	15	19	20	19	16	19	15	16	22	222	1.4
	人数	47	32	47	27	27	27	29	17	19	15	16	26	329	人
就労移行	日	20	23	26	24	20	22	21	22	20	19	20	24	261	1.7
	人数	20	44	53	47	20	31	41	43	39	36	38	46	458	人
就労B型	日	25	23	26	24	23	26	26	26	24	27	27	31	308	28.6
	人数	757	656	787	718	746	756	731	757	711	655	704	832	8,810	人
合計	日	22.0	21.3	24.6	21.0	20.6	22.6	22.0	21.3	21.0	20.3	21.0	25.6	263.3	36.4
	人数	824	732	887	792	793	814	801	817	769	706	758	904	9,597	人

4. 工賃・謝金等支払月別状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生活 訓練	支払総額	7,945	5,775	7,245	4,270	4,655	4,585	4,970
	平均謝金	2,648	1,925	2,415	1,423	1,552	2,293	2,485
就労 移行	支払総額				11,430	5,210	7,750	10,250
	平均賃金	0	0	0	3,810	5,210	3,875	5,125
就労 B型	支払総額				298,298	333,891	339,792	325,312
	平均賃金	0	0	0	8,062	9,024	9,184	8,792
		11月	賞与	12月	1月	2月	3月	合計
生活 訓練	支払総額	2,975	35,000	3,695	4,515	5,240	37,730	128,600
	平均謝金	1,488		3,695	4,515	5,240	18,865	4,946
就労 移行	支払総額	10,650	35,000	10,670	10,395	10,945	99,620	211,920
	平均賃金	5,325		5,335	5,198	5,473	49,810	8,151
就労 B型	支払総額	340,368	1,330,000	386,183	388,936	405,609	2,724,251	6,872,640
	平均賃金	9,199		10,437	10,512	10,962	73,628	15,444

5. 活動報告

①自立訓練(生活訓練)

調理訓練（ちらし寿司・セタそうめん・月見団子・かぼちゃのほうとう・バレンタインチョコ
ブラウニー・バタークッキー等の年中行事に関わるメニューの他、みそ汁、クラッカー・フ
ルーツポンチ・ホットケーキ・オムライス・和風スパゲティ・あんマガサンド・お好み焼き・
さつまいもの茶巾絞り等）
掃除訓練、洗濯訓練、裁縫訓練、買物訓練、金銭訓練、コミュニケーション訓練、外出訓練、
体力作り、月間目標決め、作業訓練、施設外作業訓練、脳トレーニング
四季の行事活動（ひな祭り・七夕・十五夜・クリスマス飾り等） 野菜栽培
麦の穂会活動（麦の穂展〔山梨中央銀行吉田支店〕）
ふれあいセンター教室へ参加（陶芸・絵手紙・クラフト）
創作活動（障害者文化展出展：Qスタ）
地域清掃活動（ゴミ拾い）

令和4年度は、新卒者1名を含む利用者3名からのスタートでした。

一年の活動は、例年と大きく変わることはありませんでしたが、新型コロナウイルスの感
染防止のための行動制限が少しずつ緩和され、バスを利用した外出訓練を実施することがで
きました。実際に体験することで、イメージだけでは見えなかった課題が見つかり、克服す
るための支援を工夫し取り組むことができました。

調理訓練では、毎週木曜日に味噌汁作りを実施し、回数をこなすごとに上達が顕著に見ら
れました。次年度も引き続き進めてまいります。

利用者の欠勤を減らす工夫として、健康管理や体力作りに努めましたが、8月末と11月末
に2名が退所されました。退所に至っては、ご家族や相談員と密に連絡を取り合い、前向き
に通えるよう取り組んでまいりましたが、ご家族の都合やご本人の強い希望により退所とな
りました。12月以降は1名のみでの支援になってしまいましたが、利用者個人に常に近い位置
で接することで、その方に必要な支援方法を深く追及し、支援の質の向上に向けて学べる機
会となりました。

創作活動では、少しずつ時間を作りながら、本人が作りたい物に挑戦し、集中力や持続力
を養うことができました。文化展や展示会にも出展し、他者から誉められ、応援されている
ことを実感し、意欲ややりがいへと繋がっていると感じます。

また、地域のゴミ拾いを行い、地域の方々に声を掛けられるなど地域貢献に努めました。

1名の利用者は、2年間の利用期間を終え、次年度より就労移行へと進みます。

今後も生活訓練の効果が就労移行への基盤作りとなれるよう、良い支援を追求し精進して
まいります。

②就労移行支援・就労定着支援

個別訓練(パソコン、各種運転免許、読み書き・計算、金銭管理、清掃 等)
就職準備訓練(ビジネスマナー、履歴書等書類の書き方、面接練習、会社見学
ハローワーク活用 等)
作業訓練(部品の検査や組み立て、洗車作業、環境整備作業 等)
施設外訓練(企業実習、施設外支援や施設外就労の提供 等)
その他(研修会やイベントへの参加)

<就労移行支援事業>

令和4年度は、4名の方にサービスを利用いただきました。就職者1名、退所者1名(7月末)、実習件数は1件(1社)でした。コロナ禍の影響もあり厳しい1年となりましたが、就労関係機関との連携やつながりのある企業へのアプローチを積極的に行い、就職者を1名出すことができました。また、各利用者による訓練メニューの計画と実施や、一般就労を見据え、通勤訓練を兼ねた生活訓練との合同外出訓練など、新たな試みも実現することができた1年でした。しかし、利用者支援や企業対応において、知識や技術向上の必要性を感じた1年でもありました。今後は各種研修等に積極的に参加し、研鑽に努めてまいります。

<就労定着支援事業>

令和4年度は、4名の方にサービスを利用いただきました。就労移行支援事業からケースを引き継ぎ、利用者を2名増やすことができました。今後も利用者、就職者を増やすことができるよう、各関係機関との連携を強化してまいります。

③就労継続支援B型

精密部品加工作業 チラシ等封入作業 紙器加工 野草等計量梱包作業
シール貼り作業 保冷剤袋入れ作業 リサイクル品の収集と処理作業
農作業 環境整備作業 縫製作業 マスク・ビーズアクセサリ製作
施設外就労 うどんカフェや企業での就労及び実習
地域交流活動 地域清掃活動 体力作り 創作活動 四季の行事体験 時事学習

令和4年度も、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた1年間でした。感染拡大の影響を受け、利用者さんが楽しみにしているイベントやお祭りも中止となり、行動が大きく制限されてしまいました。

仕事面においては、各係、感染症対策を実施しながら、安定的に作業に取り組むことができました。

また、事業内容検討会議で出た意見をもとに、職員間の情報共有を密にし、利用者さんに一体的な支援を提供するため「申し送りノート」を作成し、支援を行う上で必要な情報を職員間で共有できるようにしました。

<作業係>

令和4年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染症対策に力を入れ取り組んで参りました。

毎日の健康チェック、マスクの着用、手洗い・うがい、手指の消毒を徹底。事業所内の密な空間を避けるため、作業する部屋を分けたり、十分な距離を取り座っていただいたりと、作業スペースを工夫し、利用者さんが健康を維持しながら毎日を過ごせるよう取り組みました。

また、感染症対策や従たるB型事業所の設置を目標とし、可能な限りライフサポートセンターありんこの空きスペースを活用し、利用者さんに安心して作業に取り組んでいただける環境作りにも力を入れました。

コロナウイルス感染症対策に翻弄された1年でしたが、受託作業、施設外作業等の取引先企業様に、ご理解・ご協力をいただきながら、安定して作業に取り組むことができました。

<お菓子係>

- ・菓子等製造作業 ・食品加工作業（梅漬け・干しブドウ・ジャム・切干大根等）
- ・菜園作業、しいたけ栽培加工
- ・販売 施設合同販売（地域交流センター・ヨハネ支援センター）
加藤電器（毎週木曜日） Qスタ1F 市立病院売店
道の駅富士吉田 三つ峠グリーンセンター
季節販売（クリスマス・バレンタインデー・ホワイトデー）

令和4年度も前年度に引き続き、利用者の方と職員の健康・衛生面のチェックを心がけて作業に取り組みました。作業は個々のペースに合わせて行い、利用者の方が自主的に作業を行うことができるように手順書を用いたり、クッキー生地を切る作業やシール貼り作業などがやりやすいように治具を工夫し活用しました。オーブンの出し入れや温度設定・ガス栓等も利用者さんにしてもらうように取り組みました。また、材料費や光熱費の高騰もあり、値上げや内容を減らし対応しました。

コロナ禍でイベント販売の機会はありませんでしたが、道の駅等の委託販売先での売れ行きは良く、丁寧にお菓子作りや加工食品の製作にも取り組むことが出来き、衛生面の振り返りの時間が取れたり良い面もありました。大きな怪我をすることなく、安全・安心に調理することが出来ました。一人一人の任される幅が広がり、今後も利用者の方の働く意欲を引きだせるよう、精進してまいります。

<ありんどう係>

令和4年度も前年度に引き続き、「やまなしグリーンゾーン認証施設」として、お客様に安心して利用していただけるよう、感染症防止対策に努め営業を続けてきました。

市民会館で行われるイベントが徐々に増えてきたことに伴い、来店者数も増えてきましたが、原材料費や光熱費の高騰を受け、収益は思うように伸びませんでした。昨年度就労継続支援B型事業所向けの「工賃向上研修」や、オンラインでの「アドバイザー派遣」を受け、棚卸や原価管理など原価を抑える取り組みについて学び、カフェの営業についてアドバイスをいただいたことを生かし、改めて販売価格の見直しを行い、1月中旬から値上げを実施しました。

ありんどうで働く利用者の方に対しては、「開店準備」「接客」「閉店後の掃除や片付け」のマニュアルを作り、見通しをもって働くことができるように支援をしてきました。

<厨房係>

令和3年度はコロナ禍の影響を受け、大きなイベントにおける特別弁当の注文はほとんどありませんでしたが、顧客の紹介での特別注文はありました。しかし、退職する職員と産休に入る職員が重なり、新たに非正規の職員を雇用しましたが、毎日約100食のお弁当作りをこなすのが難しくなり、10月末で外注弁当を休止しました。外注弁当を再開して欲しいとの声が多いので、お弁当作りに関わる職員、利用者の配置、顧客の整理、配達方法など無理のない体制作りを構築し再開を目指したいと思います。

計画していた嗜好調査を行いました。ご飯の固さ・量・おかずの味付け・おかずの量・盛り付け・彩りなどを調査しました。特に酷評もなかったので安心しました。ありんこ内の行事食、クリスマスメニューは利用者にとっても喜ばれています。

利用者に関しては毎日、忙しく作っていたお弁当の食数が半分になり、ありんこ内の昼食のみになった為、1日の作業内容が大きく変わりました。その違いに慣れるのに時間がかかりました。また、利用者の年齢層も高くなり、1日、厨房にいるのが大変な方もおり、利用者にとっても無理のない体制作りを目指します。

④その他

定例職員会議	職員会議：毎月15日(休日の場合は前日の平日)に開催 就労継続B課会議：毎月第2水曜日 厨房会議：毎月第1金曜日 他 就労移行支援会議・ありんどう会議 (随時)
支援計画	個別支援計画に係るケース会議、説明並びに同意の面談の開催 (随時) 計画相談における関係者会議やモニタリングへの出席 (随時)
職員研修会	・防火管理者講習 (6/15 16) ・ジョブコーチ支援推進協議会 (6/22) ・強度行動障害支援者養成研修基礎研修 (6/28・29 1名) (11/1・2 2名) (3/1・3 1名) ・強度行動障害支援者養成研修実践研修 (11/8・9 2名) (3/8・10 1名) ・精神障害者の障害特性と支援方法を学ぶ基礎養成研修 (10/22) ・インボイス制度に関する研修会 (11/10) ・自立支援協議会全体会議講演「障害者虐待と真摯に向き合う」 (12/6) ・工賃向上アドバイザー派遣事業成果報告会 (2/15) ・産福連携に関する研修会 (3/14)
会議への出席	・富士北麓圏域自立支援協議会 就労支援部会 ・山梨県知的障害者支援協会スタッフ部会
実習・体験受入れ	ふじざくら支援学校 桃花台学園 都留文科大学 相談支援専門員の紹介者

月	日	曜	主な活動内容
4	1	金	新年度開始式
	16	土	三和防災様 定期点検
	26	火	避難訓練実施(地震想定)
	28	水	麦の穂展搬出(山梨中央銀行吉田支店)
	29	木	昭和の日 開所日(焼きそば作り)
5	1	日	障害者スポーツ大会(陸上・フライングディスク)11名参加
	5	水	こどもの日 開所日(蓮池までウォーキング)
	7	土	障害者フライングディスク大会(生活訓練2名・就労移行1名・就労継続B型12名)参加
	25	水	チャレンジデー参加(徳島県鳴門市と対戦)
	29	日	辻澤文男さんお別れの会参列
6	1	水	渡邊栄元施設長のお墓参り
	1	水	ふじざくら支援学校 I 期実習(～6/14)就労移行1名・就労継続B型3名
	16	木	桃花台学園実習(～6/29) 就労移行1名
	17	金	生) 陶芸教室
	21	月	生) 麦の穂会議(今後の活動の在り方)
	22	火	就) Jネットレンタカー1名実習(～6/24 3日間)
	23	木	避難訓練(火災想定 消防署立ち合い)
	23	木	B厨) 山梨県食品衛生協会お弁当試験結果陰性
7	5	火	明見中学校環境美化委員様よりプランター植えの花3個寄贈を受ける
	13	水	生) 絵手紙教室
	18	月	海の日 開所日中止
	22	木	生) 陶芸教室
	29	木	夏期賞与支給(利用者)
	29	木	就) Jネットレンタカー1名就職
8	8	月	富士の緑とフードサポート様より、お菓子の寄贈
	11	木	山の日 開所日(施設内作業)
	13	土	お盆休み(～8/16)
	29	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～9/2)
	29	月	敬老の日 開所日(創作活動:貼り絵)
9	4	日	富士吉田市総合防災訓練(IP無線機による応答訓練に参加)
	19	月	敬老の日 開所日(創作活動:貼り絵)
	23	金	秋分の日 開所日(施設内作業)
	27	火	ふじざくら支援学校よりⅡ期実習生受け入れ(～10/7 就労移行3名・就労継続B1名)
10	4	火	B) 富士・東部地区食品衛生協会食品営業従事者微生物検査全員異常なし
	4	火	桃花台学園実習(～10/28) 就労移行1名
	5	水	生) 絵手紙教室
	10	月	スポーツの日 開所日(施設内作業)
	12	水	生) 外出訓練
	14	金	法人職員研修会(安全衛生委員会主催:「健康な体について」)のため、利用者2時帰り
	21	木	生) 陶芸教室

月	日	曜	主な活動内容
月	日	曜	主な活動内容
11	26	水	生) デコレイクラフト教室
	29	土	三和防災様 定期点検
	31	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～11/4)
	3	水	文化の日 開所日 (大明見文化祭見学)
	7	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～11/11)
	7	月	バリアフリー音楽祭鑑賞(河口湖円形ホール)
	8	火	生) 麦の穂会議(近況報告)
	11	金	山梨県障害者文化展地域展(～11/15 於Qスタ)
	16	水	生) 絵手紙教室
	22	月	「目にうつるものが本当ではないよ」CATV撮影
	23	火	勤労感謝の日 開所日 (施設内作業)
12	28	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～12/2) 防災訓練(地震想定)
	30	水	生) デコレイクラフト教室
	8	木	「目にうつるものが本当ではないよ」動画撮影(河口湖円形ホール)
	14	水	利用者定期健康診断
	19	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～12/23)
	20	火	テレビ山梨厚生文化事業団様よりクリスマスケーキの寄贈を受ける
	23	金	B) クリスマス菓子引き渡し
	28	火	2022年仕事納め 大掃除
	4	水	2023年仕事始め
	10	月	成人の日 開所日(坊主めぐり大会)
	16	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～1/20)
1	16	月	B) 富士東部保健事務所衛生課様来所 厨房にて調査を行う。
	17	火	生) クラフト教室
	5	日	初午祭
	8	水	生) 絵手紙教室
	10	金	B) バレンタイン菓子引き渡し
	14	火	生) クラフト教室
	23	木	天皇誕生日 開所日
	3	金	B) ホワイトデー菓子引き渡し
	10	金	B) ふじざくら支援学校高等部1年校外学習 ありんどうに18名来店
	14	火	B) 正福寺様 クッキー700個納品
	31	金	B) 慶和荘様 クッキー400個納品

グループホームあさひ・そよかぜ

令和4年度事業報告書

(令和4年 4月 1日～令和 5年 3月 31日)

◎ GHあさひ (定員 5名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5
退居者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5

◎ GHそよかぜ (定員 7名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7	7
退居者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
合 計	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	7	7

◎支給決定市町村 富士吉田市 (8名) 都留市 (2名) 上野原市 (2名)

2. 職員

管理者兼サービス管理責任者 (常勤) 1名

世話人 (常勤) 1名 (非常勤) 6名

3. サービス内容

- (1) 食事の提供 (朝食 夕食)
- (2) 日常生活の支援
 - ・ 日中活動の支援
 - ・ 掃除、洗濯、買い物等への支援及び働きかけ
 - ・ 悩みや不安などの相談事への助言等の支援
- (3) 医療及び健康管理の支援
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 障害者総合支援法に係わる申請の援助
- (6) 行政手続きの代行

5. 総括

令和4年度は、グループホームあさひは5名、グループホームそよかぜは7名、合わせて12名でのスタートとなりました。その後グループホームあさひは、5月に家庭の都合で一名退所し4名になりましたが7月には1名入居し5名になりました。グループホームそよかぜは11月に病院に長期入院で1名退所し1月に1名入居したので年度末の入居人数は男女合わせて12名の利用者になりました。

男性のグループホームあさひは、年度末には4名の方がコロナウイルス感染症になり、また女子のグループホームそよかぜも4名の方が続けて感染し共同生活で感染を防ぐ難しさを知りました。食事の提供や服薬・体調管理や相談などグループホームとしてのかかわりを続けました。

また前年度よりの課題であります高齢利用者の動向も関係者の中で共通課題にし取り組みだしました。引き続き来年度の課題にして取り組んでいきたいと思えます

今年度も新型コロナ感染防止のため、予定していたいろいろな行事はできませんでしたが、年度末には食事会に行くことができ気分転換になったようでした。

これからもグループホームが過ごししやすいところ、安心・安全なところであるように、働く職員、世話人にとっても風通しのよい場所になるように努めてまいります。

6. 活動報告

月	日	曜	活 動 内 容
4	23	土	防災点検(三和防災)
	29	木	創造の森見学3名(そよかぜ)
5	2	月	猿橋見学3名(そよかぜ)
	3	火	そよかぜバーベキュー(夕食)
	6	金	あさひバーベキュー(夕食)
	7	土	フライング大会2名参加
	25	水	スポーツチャレンジデー参加5名
	29	日	辻沢さんお別れの会
	31	火	利用者1名あさひ退所
6	16	木	利用者1名あさひ体験利用～6/18
7	1	金	利用者1名あさひ入居利用開始
10	14	金	そよかぜ外食
	26	水	あさひ外食
	27	木	利用者1名全国障害者スポーツ大会参加～11/1
	29	土	防災点検(三和防災)
11	4	金	あさひインフルエンザ注射(楽天堂整形外科)
	8	月	そよかぜインフルエンザ注射(楽天堂整形外科)
11	22	火	防災訓練あさひ
11	24	木	防災訓練そよかぜ
	30	水	利用者1名そよかぜ退所
12	14	水	ありんこにて健康診断
	23	金	クリスマスメニュー
1	24	火	利用者1名そよかぜ入居利用開始
2	5	土	初午祭
	10	金	消防あさひ立会検査
	27	月	利用者1名市役所にて実習～3/1
3	15	水	課長主催研修参加職員3名
	18	土	年度末食事会(そよかぜ)
	23	木	年度末食事会(あさひ)
	26	日	利用者5名いずみボウリング大会参加
	28	火	利用者1名もえぎ寮体験～3/30

短期入所事業所ありが亭
令和４年度事業報告書

（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

１．事業の内容

障がい者が可能な限りその地域における生活が継続できることを念頭において、居宅の生活が一時的に困難になった障がい者に対し入浴・排せつ・食事・着替えの介助・見守りその他必要なサービスを提供して、日常生活上の支援を行います。

２．登録利用者 男性 12人 女性 8人 合計 20人

支給決定市町村	富士吉田市（12人）	富士河口湖町（3名）	忍野村（4名）
	西桂町（1名）		

３．利用実績 令和４年度はコロナ感染症拡大につき閉鎖していました。

４．職員

管理者	1名	生活支援員	5名
-----	----	-------	----

５．総括

今年度も新型コロナウイルス感染症が地域でも拡大しており、感染防止のため通常の開所はできませんでした。

相談支援事業 令和4年度事業報告書

(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 3 1 日)

1. 事業の内容

◎ <指定特定相談支援及び指定障害児相談支援事業>

当事者についてのアセスメントに基づきサービス等利用計画を作成します。サービス等利用計画の作成後、実施状況の把握「モニタリング」を行い、必要に応じて計画の変更、福祉サービス事業者等との連絡調整等を行います。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	実人員
障害者	83	5	224	110	10	5	60	482
障害児	0	0	18	0	18	0	1	26
計	83	5	242	110	28	5	61	508

契約者数	139	解約	10
新規契約	13		

(支援方法)

訪問	521
来所相談	10
同行	31
電話等相談	989
電子メール	57
個別支援会議	2
関係機関	27
その他	219
計	1,856

(支援内容内訳)

福祉サービスの利用等に関する支援	341
障害や病状の理解に関する支援	40
健康・医療に関する支援	277
不安の解消・情緒安定に関する支援	73
保育・教育に関する支援	15
家族関係・人間関係に関する支援	71
家計・経済に関する支援	63
生活技術に関する支援	96
就労に関する支援	37
社会参加・余暇活動に関する支援	2
権利擁護に関する支援	8
その他	833
計	1,856

利用計画作成件数	111	モニタリング件数	274
----------	-----	----------	-----

◎ <指定一般相談支援事業>

障がい者支援施設、精神科病院に入所又は入院している障がい者を対象に住居の確保、その他の地域生活へ移行するための支援を行います。 ※令和4年度の実績なし

2. 職員の職種、員数及び職務内容

- (1) 管理者 1名 (非常勤)
- (2) 相談支援専門員 2名 (常勤専任 1名、非常勤専任 1名)
- (3) 相談支援員、地域移行支援・地域定着支援を担当する者

3. 通常の事業の実施地域

富士北麓6市町村全域(富士吉田市 富士河口湖町 西桂町 忍野村 山中湖村 鳴沢村)
その他、近隣市町村。 ※相談によってはこの限りではない。

4. 主たる対象者

身体障がい者 知的障がい者 精神障がい者 障がい児 難病患者など

5. 総括

令和4年度の年度末契約者数は、前年度に比べ3名増えました。

給付費をいただいた総数は、385件と前年度から4件増え、僅かではありますが増加となりました。

加算の取りこぼしが無いように給付費を頂くことを心掛け、「入院時情報提供加算」については前年度に比べ、多くいただくことができました。年間支援件数は、前年度より215件と大幅増となりました。関係機関との情報共有や調整、相談を丁寧に行った結果だと思えます。コロナ禍ではありましたが、圏域外・県外での支援の機会も多くありました。相談支援ネットワークやまなしや富士北麓相談支援ネットワーク会議等に参加し、関係機関との情報共有や連携を深めています。

障がい者就業・生活支援センターありす

令和4年度事業報告書

(令和4年 4月 1日～令和 5年 3月 31日)

<雇用安定等事業>

1. 就業支援の実施

主任就業支援員1名、就業支援員1名を配置し以下の業務を実施

(1) 相談・支援の実施

- 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の支援を行う。
- 事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。
- 障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。

障害者に対する相談支援		事業主に対する助言		職場実習のあっせん	
対象者数	359人	対象事業所数	89件	実習件数	31件
相談件数	2,423件	相談件数	626件		
就職件数	40件				

(2) 在職者交流会の実施

在職者の交流参加希望者に対して交流会を実施する。交流会では、グループワーク等で職場の悩みを話し合う場を提供し、不適応課題の早期把握、改善を図り、職場定着を促進している。

(3) 就業支援担当者の研修等

障害者就業・生活支援センター就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行なった。

【障害者就業・生活支援センター意見交換会】

日程：令和4年11月16日

※今年度は、コロナウィルス感染症の影響により、Webでの意見交換会となった。

(4) 移動相談(ハローワーク巡回相談)

各ハローワークにて毎月1度相談日を設け、就労についての相談を行い、ニーズの掘り起こしや、当センターの周知を行なった。

2. 関係機関との連絡会議の開催

業務の円滑かつ有効な実施に資するため、他の就業・生活支援センター及び、ハローワーク、就労移行支援事業所、特別支援学校、自治体、福祉事務所等の関係機関との連絡会議を開催または出席し、これら機関との連携を図った。

<生活支援事業>

1. 生活支援の実施

生活支援員(常勤)1名を配置

(1) 地域内の障害者の状況把握及び登録

活動内容	実施期間	実施方法	
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	1,835件

(2) 登録された障害者に対する支援

活動内容	実施期間	実施方法	
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	1,835件
ケース会議の開催 または出席	随時	ケース会議を実施。または出席。	50件
同行支援	随時	各種手続きやハローワーク等への同行支援。	146件

2. 関係機関との連絡調整

- 就業・生活支援センター合同会議 3ヶ月に1回開催
- 富士・東部自立支援協議会 1ヶ月に1回開催、又は2ヶ月に1回
- 連絡調整会議 随時開催

〈総括〉

令和4年度はコロナウィルス感染症により、外出支援や来所相談の自粛を余儀なくされたものの、精神障がい者や発達障がい者への相談件数は、100件近く増加しました。それと同時に精神障がい者の職場実習件数、就職件数も増加しました。

ハローワークの巡回相談は、各ハローワーク合わせて30回行い、31名の方の相談を受けました。相談の内容は「就業と生活の両方にわたる相談・支援」が15件と最も多く、次いで「就職に向けた相談・支援」が9件となっています。

在職者交流会はコロナウィルス感染症の影響により4回の開催でした。ピアサポート活動ということで、就労している方より「就労に至った経緯」「働くうえで困っていること、良かったこと」などを話して頂いています。就労を希望している方や就労している方にとってとても良い刺激になっています。

Webを活用して会議、個別面談、定着支援を行うこともありましたが、今回初めての試みとして、職業センターのリワーク支援に通うことが困難な方に対してWebで職業センターと繋ぎ、ミーティングに参加して頂きました。郡内からリワーク支援や職業準備支援に通う方もいるため、この地域で支援が受けられる体制づくりを職業センターと検討していきます。

訪問型職場適応援助者事業

令和4年度事業報告書

(令和4年 4月 1日～令和 5年 3月 31日)

○ 職場適応援助者事業

職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業は、障がい者の職場適応に課題がある場合に、職場にジョブコーチが出向いて、障がい特性を踏まえた専門的な支援を行い、障がい者の職場適応を図ることを目的としています。

1. ジョブコーチ支援の内容

- ・ ジョブコーチ支援は、対象障がい者がその仕事を遂行し、職場に対応するため、具体的な目標を定め、支援計画に基づいて実施します。
- ・ 障がい者本人に対する職務の遂行や職場内のコミュニケーション等に関する支援だけでなく、事業主に対しても障がい特性に配慮した雇用管理等に関する支援を行います。
- ・ ジョブコーチが行う障がい者に対する支援は、事業所の上司や同僚による支援（ナチュラルサポート）にスムーズに移行していくことを目指します。

2. 実施状況

支援人数	4	名
支援件数	14	件

3. 総括

令和4年度の支援人数は4名で、支援件数は14件でした。昨年度に比べると、全員がフォローアップ期間中の利用という事もあり訪問頻度が少なく、人数件数とも減少しています。

今年度も、職業センターとの連携を強化しつつ、単独支援での依頼も積極的に受けながら当事業に関する周知活動も精力的に行い、支援人数、支援件数を伸ばしていきます。

